

## すべてを内製化した真空成形トレイ製造

納期 相談  
企画力 自信有  
コスト 相談  
オンリーワン技術  
メイドインジャパン  
試作可 小ロット  
量産 対応



受注の幅が広がる要因となっているクリーンルーム

業務内容  
多様な分野で活躍する  
トレイを提供

真空成形で各種トレイを製造する企業。真空成形とはフィルム状や板状の樹脂を予熱して金型の上に置き、真空引きして立体形状にする手法（熱成形）で、樹脂成形の1つである。樹脂成形の中でもっともポピュラーなインジェクション（射出成形）に比べ、複雑な金型部品がないため安価。小ロットにも大口ロットにも対応できる。真空成形の中でも、フィルム樹脂を使った連続成形を得意とし、主力は電子部品、精密部品、工業部品の出荷・工程用トレイ。しかし、平成12年にクラス10000のクリーンルームを設置して医療分野に本格参入。以後、医療器具トレイや、カテーテルトレイなどで受注を伸ばしている。

強み  
一貫生産でスピードとコストと守秘を追求

真空成形を手がける企業で金型をすべて内製している企業はまだ少なく、国内では同社を含めて約10社。「その内、クリーンルームを持つ企業となる」と数社程度」と西口佳弘副社長は見ている。高度な設備を持つだけでなく、試作、金型、成形を一貫して手がけて



設計段階から関わり顧客とともに創り出す主力の部品トレイ

ノウハウを蓄積しているため、「こんな部品を梱包したい、といった要望を受けて設計段階からまかせてもらえる」と語る。さらに新規開発商品の部品形状を推察できる工程用トレイの金型は、競合他社に知られたくない企業秘密の一部。このため金型の内製は、コストと納期だけでなく守秘の面でもメリットがあるという。

提案力  
オリジナル成形品で  
射出成形品市場も攻める

「真空成形は射出成形に比べてコストは安い、成形品の強度が低い」というのが一般常識。そういつた中、真空成形品を貼り合わせて強度を高めたトレイや基板ラックなどのオリジナル成形品を開発した。射出成形インジェクション品の2分の1から3分の1の価格で提供し、射出成形品市場を攻めたものは中空なので軽量化という面でも優位」と自信を見せる。

今後の展望  
水耕栽培トレイで  
農業分野を開拓

新市場として注力しているのは農業分野。既に大阪府立大学の植物工場のコンソーシアムに参加し、水耕栽培用トレイが採用されている。水耕栽培で主流の発泡スチロール製トレイは、カビや苔を除去するメンテナンスが煩雑で、劣化もしやすい。同社が真空成形でつくる樹脂トレイは抗菌加工しているためメンテナンスが軽減され、強度と耐久性も高いことから、ランニング費用で有利。植物工場の需要が本格化すれば普及が期待できそうだ。

## COMPANY PROFILE

株式会社 大和真空

大阪  
25ISO 9001  
ISO 14001

## 当社の歴史

昭和46年に創業。当初は軽包装パックやトレイから始め、携帯電話液晶の出荷・工程用トレイなど電子部品分野へと足場を拡大しました。クリーンルームで組み立てる精密部品にはクリーンルームで製造するトレイが必要との考えから、クリーンルーム工場を建設。お客様に安心して使用していただける製品を提供しています。

今後伸びる市場である、医療や農業について積極的に取り組んでいきます。

代表取締役社長 西口 正幸さん



## ■主な事業内容

プラスチック真空成形による医療部品、電子部品、自動車部品、農業関係のトレイ（包装材）の製造

## ■主な取引先（納入先）

医療部品メーカー、電子部品メーカー、自動車部品メーカー、大学等研究機関

住所 〒571-0017  
門真市四宮  
3-1-37

TEL / 072-882-2466  
FAX / 072-885-3684

創業 / 昭和46年9月

設立 / 昭和56年5月

資本金 / 4,000万円

従業員 / 43名

<http://www.daiwashinku.co.jp/>